



加東市

議会だより

3月定例会

**議場** 3月28日定例会最終日の様子

議場は、社庁舎3階に設置されており、年4回の定例会や臨時会が開かれる。

この場において、市長から施政方針や予算、条例制定などが提案され、議員によって審議が行われる。後方には、記者席、傍聴席（24席）も設置されている。

●議長・市長・委員長あいさつ	2
●議会構成	3
●平成19年度予算	4
●平成18年度補正予算・条例制定	6
●一般質問	7
●委員会報告	14
●施設紹介～やしろ鴨川の郷～	16

議会だより創刊にあたって



ともに風を
感じながら

市長
山本 廣一

春光の中、輝く未来を見据えて船出した加東市もはや二年目を迎えました。そして、さらなる飛躍と市民の幸せづくりに力強く帆を進めています。また、この一年、議会と行政がしっかりと手を携え、大きな帆となって市民の想いを受け止めつつ、「夢がきらめく☆元気なまち 加東」へと舵をとってまいりました。

「政府は帆であり、国民は風であり、国家は船であり、時代は海である」ドイツの評論家ベルネの言葉です。まちづくりは、市民の風なくして前に進むことはできません。

この議会だよりの発刊を契機として、さらにより多くの夢と希望を帆に受け、そして、理想のふるさとづくりを目指したいと思います。議会と行政がともにその風を感じながら。



お読み下さい
「議会だより」

市議会議長
井上 茂和

加東市が誕生して一年が経過しました。我々議会議員二十名も「元気なまち加東」を目指し、諸課題に向かって取り組んでいるところです。

このたび、新市のまちづくりを皆さんにできるだけわかりやすくお知らせし、共に新しいまちづくりを推進していくために「加東市議会だより」を発刊することとなりました。この議会だよりは議員による自主編集により、客観的に、公正で、かつ、親しまれ、読みやすい紙面づくりを目指し、議会広報特別委員七名が中心となり、全議員の協力を得ながら張り切って作成してまいります。

新市が誕生して間もない中であって、これから議会だよりの果たす役割は大きなものであると期待しています。加東市民の皆さんに、いつまでもご愛読いただけるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

わかりやすい議会だよりを目指して



議会広報
特別委員長
藤尾 潔

このたび、議会だよりの発刊にあたり、七名の議会広報特別委員で編集を担当させて頂いたことになりました。委員一同「わかりやすい議会だより」を目指してがんばっていきたいと思っています。市議会を身近に感じていただければ幸いです。

加東市議会としては初めての取り組みということもあり、試行錯誤を重ねながらの編集になるとは思いますが、温かい目で見守っていただきますようお願い申し上げます。発刊のごあいさつとさせていただきます。

こんにちは加東市議会です

● 議 長 井上茂和 ● 副議長 二階一夫 ● 監査委員 山本通廣

■ 総務文教常任委員会

行財政改革、交通安全・防犯対策、ケーブルテレビ、教育委員会などに関する調査並びに審査を行います。

委員長 長谷川勝己

副委員長 羽野 奨

委員 松本 学 委員 山本通廣

委員 安田 朗 委員 藤尾 潔

委員 磯貝邦夫



■ 産業建設常任委員会

農業・商工業の振興、都市計画、公共土木施設整備、生活排水処理、上水道の整備などに関する調査並びに審査を行います。

委員長 村岡 実

副委員長 志方 勉

委員 井上寿弘 委員 二階一夫

委員 藤原文悟 委員 小紫泰良



■ 厚生常任委員会

保健・医療体制の充実、環境対策、福祉・介護保険、消防・防災対策、公立総合病院などに関する調査並びに審査を行います。

委員長 藤田靖夫

副委員長 橋本嘉郎

委員 上月 清 委員 丸山武彦

委員 桑村繁則 委員 小川忠市



■ 議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項、議会改革に関する事項の調査並びに審査を行います。

委員長 藤田靖夫 副委員長 松本 学

委員 村岡 実 委員 井上寿弘

委員 桑村繁則 委員 長谷川勝己

で慎重に審査

行財政改革を推進し

福祉に配慮

平成19年度予算について、議長を除く19名の議員で構成する予算特別委員会（長谷川勝己委員長）を設置し、3月5日から5日間にわたり審査を行った。

主な質疑

企画部

問 コミュニティバスの検討の方向性について。

答 公共交通会議において事業の導入について前向きに検討を行う。

しかし、初めから導入ありきではなく、費用対効果なども見きわめて考えていく。

問 東条地区ケーブルテレビ整備および社地区デジタル対応のスケジュールは。

答 4月に入札を行う。その後のスケジュールは、工事の進み具合による。

総務部

問 入札制度の基本方針について。

答 他県での官製談合等もあり、一般競争入札に向けて方針を整理している。

問 三位一体改革の影響は。

答 影響はある。合併していなければ、もっと大きく交付税額が減額されていたと思われる。

問 市の一般会計の借金残高は。

答 約170億円で、そのうち約150億円については何らかの交付税算入がある。

（注）下水道等の特別会計、水道・病院の企業会計を含む。

めると、市の借金残高は平成18年度末で約480億円。

問 同種の施設の統廃合の方針は。

答 今後の行財政改革の中で、メインになるべき施設と統廃合すべき施設を見きわめていく。

問 滞納整理の方法について問う。

答 嘱託徴収員による訪問徴収や、電話コールでの滞納整理に鋭意取り組む。

問 ハザードマップの作成状況は。

答 5月末に作成し、6月初旬に全戸配布する予定。

消防本部

問 カラオケ店等で宝塚市で問題になったような消防法に違反する施設はないか。

答 市内には、カラオケ店はなく、同様の施設についても人命に危険を及ぼすような違反はない。

市民生活部

問 消費生活専門相談員の活動状況は。

答 毎週水・金曜日に滝野庁舎で対応している。相談件数は年間約150件で、内容は架空請求が大半である。

福祉部

問 とどろき荘整備事業の内容は。

答 浴室棟の越屋根、電気・給排水設備の改修が主なものである。

問 同和対策関連法失効後の加東市の人権行政について。

答 同和問題を初め、女性・子ども・高齢者など、いろいろな人権意識を高めることに取り組んでいきたい。



テレネットやしろ局舎

予算特別委員会



予算特別委員会審査風景

問 生活保護の不正受給はないのか。

答 家庭訪問等、あらゆる機会をとらえ、不正受給がないように慎重に調査をしている。

問 保育料の滞納は。

答 約330万円になる。多額なケースもあるが、地道に徴収を進めたい。

社総合病院

問 病院経営の方向性は。

答 医師確保が最重要課題であり、複数医局との連携等も含めて取り組んでいる。北播磨地域での方向性も見ながら、病院をいかに向上させていくか、地域医療体制を整えるかが大切である。

教育委員会

問 市民体育祭の方向性は。

答 小学校区単位を基本に14ブロックの選抜チームの対抗戦とする予定。

問 給食費の滞納は。

答 全額徴収している。

問 いじめ問題について。

答 昨年末いじめとして取り組んでいた件数は約50件。現在11件に減っている。引き続き意識をしながら対応していく。

問 英語指導助手を民間委託に変更した理由は。

答 英語指導力の強化を重視した。

建設部

問 特別指定区域制度について。

答 地縁者が指定区域の中で新たに住宅を建てられるようになる。

平成19、20年度で市街化調整区域内に10年以上住まれた方が住宅を建設できる区域の指定を受けていく。

保健介護部

問 地域密着型介護サービスについて。

答 高齢者が要介護状態となっても住みなれた地域で生活できるよう、日常生活圏域内で地域の特性に応じたサービスを提供する。

農業委員会

問 農地の無断転用はないのか。

答 現在はない。各農業委員による農地パトロールを行っている。

上下水道部

問 水道の会計等業務委託について。

答 検針、料金計算、収納、施設運転管理などを民間に委託する。これにより3年で3人の人員削減を目標としている。

反対討論

教育集会所運営事業費について、「見直しを検討」ではなく、見直しをすべき。

賛成討論

財政危機を乗り切る視点の中で、福祉にも十分配慮されていると考える。

経済部

問 夏まつりの方針は。

答 3会場持ち回りで行う。

審査の結果、一般会計と水道事業会計については賛成多数で、その他は全会一致で可決した。

19年度に
事業実施ケーブルテレビ事業に
15億2600万円

条例制定・改正

地方自治法の一部改正に伴い、助役を副市長に、収入役を会計管理者に改める。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員勤務時間の変更
午前8時30分から
午後5時15分までを
午後5時30分までに変更

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

新給料表への切り替えを行う。なお、現給保障制度を適用する。

総務文教常任委員会へ付託

福祉医療費助成に関する条例の一部改正

0歳～義務教育就学前

第7回加東市議会定例会は、3月1日に招集され3月28日までの28日間の会期で開催した。市長から平成19年度当初予算、平成18年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、規約の一部変更、人事案件など45件、議員からは意見書2件が提案され、いずれも原案のとおり決定した。

平成19年度予算の提案にあたっては、山本市長から施政方針が表明され、その後、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置して5日間にわたり審査を行った。

また、議会広報特別委員会を設置。兵庫県後期高齢者医療広域連合議会の選挙では、山本廣一市長を選任した。2日目の一般質問では、14人の議員が市政について市長及び教育長の考えをたどした。

医療費無料化

(平成19年7月1日から)

小学1年生～3年生の

患者負担の減額

通院 1回700円

(月2回まで)

入院 月2800円まで

(平成19年4月1日から)

厚生常任委員会へ付託

特別職(常勤)の期末手当の減額

減額率

市長

副市長

教育長

(平成19年6月及び12月支給分)

総務文教常任委員会へ付託

臨時又は非常勤の嘱託員等の報酬及び
費用弁償に関する条例の一部改正

消費生活相談員	1日 12,000円
(新)市税等徴収員	月額84,000円+ 500円×徴収件数 +過年度分徴収金額×5% +現年度分徴収金額×2.5%
(新)納税相談員	月額74,000円+ 50円×相談件数

選挙

兵庫後期高齢者医療広域連合(※)

議会議員

当選人 山本廣一市長

(指名推選)

※現在の老人保健医療制度にか

わり、平成20年4月から新し

く75歳以上の後期高齢者医療

制度(県単位の組合)を設立。

平成18年度 各会計補正予算

会 計 別		補 正 額	補 正 後 の 額	主 な 内 容
一般会計(3号)		12億8100万円	175億7600万円	法人市民税の増、ケーブルテレビ施設整備費の増
特 別 会 計	国民健康保険(3号)	△1億840万円	35億7620万円	保険税の減、保険給付費の減
	老人保健(2号)	0円	37億9570万円	国・県支出金の確定と一般会計繰入金の精査
	介護保険保険事業(3号)	△100万円	23億1310万円	事務事業の精査による減
	介護保険サービス事業(2号)	△2270万円	4億9960万円	事務事業の精査による減
	診療所(2号)	△150万円	2億2090万5000円	事務事業の精査による減
	下水道事業(3号)	△4930万円	18億2980万円	流域下水道負担金の減
	コミュニティ・プラント事業(1号)	△220万円	2億6040万円	事務事業の精査による減
水道事業会計(3号)	収益的収入	△2710万円	14億2288万5000円	事務事業の精査による減
	収益的支出	△1301万4000円	13億6992万5000円	事務事業の精査による減
	資本的収入	569万7000円	1億462万8000円	加入分担金の増
	資本的支出	△4402万6000円	4億7434万8000円	計画工事見直しによる減
病院事業会計(2号)	収益的収入	△119万2000円	26億4397万8000円	医業収益の減
	収益的支出	△119万2000円	26億4397万8000円	事務事業の精査による減

庁舎、施設の再編について

安田 朗 議員



問 現在の3庁舎に分けての業務は、住民の皆さんに不便を感じさせている。

また、一般経費、人件費にかなりのロスが生じていると考える。行財政改革に取り組んでいる現在、本庁、支所の行政体制を確立し、職員の特性、能力に応じた適材適所の人員配置も含めた各庁舎、施設の再編が重要と考えるが、市長の見解を問う。

答 3庁舎に分かれているため不便だという声を聞く。

4月から一部で事務所の集約化を図るが、十分でないことは承知している。財政面からも、新庁舎建設はむずかしいと考えている。平成19年度のできるだけ早い時期に、検討委員会を立ち上げ、財政面、

市民サービス面を含めて、総合的に庁舎統合について検討していきたい。

その他の質問事項

□人権教育、人権学習の一層の充実を

□安全、安心のまちづくりについて

○水害と地震への取り組み

○防犯への対応について



社保健センターに業務を集約

加東市の財政状況を問う

橋本嘉郎 議員



問 市長は、加東市の財政の今後3年間の歳入、歳出、基金残高、市債の残高の推移をどう見ているのか。

答 歳入面では、基本的には市税の伸びは見えていない。今後3年間は厳しい財政状況が続くと予想している。

問 税の滞納については、税負担の公平性を保つたために対策を強化すべきである。個人の金融機関の口座差し押さえもすべきであると考えが。

答 今回、滞納管理システムを導入したことにより事務の簡素化を図る。生活状況等を慎重に調査の上、預貯金の差し押さえも強化していく考えである。

その他の質問

□中国ハイウェイバス東条停留所にトイレの設置を

基金総額
約50億円（平成18年度末）
うち財政調整基金 約25億円

地方債の推移（単位：億円）

年 度	残 高
H16	517.1
H17	501.9
H18	480（見込み）
H19	462（見込み）
H20	427（見込み）

税の滞納対策をもっと強化すべきと考えるが



多くの乗客が利用する中国ハイウェイバス東条停留所

加東市学校教育の 基本方針について



小紫 泰良 議員

問 増田教育長の平成19年度における加東市学校教育の基本方針について問う。

答 平成19年度は「学び・学び合いの文化の創造」をスローガンに掲げ、子どもたちに「確かな学力」「思いやりの心」「強い体」を身につけさせることが、加東市の学校教育の基本方針である。

地区境の通学路における 防犯灯の設置について

問 地区境の防犯灯の設置は、放置されがちになっている。特に旧町境並びに近隣市境は顕著である。暗くなってからそれらを利用するのは、中学校の生徒、加東市から近隣市へ通学している生徒が多くを

占めている。生徒たちが安心して通学できるように、地区境の防犯灯の設置についてどのように考えているのか。

答 高校生の通学路については把握できていないのが現状。市内の道路すべてに防犯灯を設置するには相当の期間が必要と考えるが、区長会等からの地元要望に対し、できる限り要望にこたえられるよう努力する。



満開の桜が新入生を迎えた鴨川小学校

まちづくりと商店街の 活性化対策は



藤田 靖夫 議員

問 にぎわいあふれる魅力ある商店街を再生するために「まちづくり」の観点から商店街振興を見据え、まちづくりの主体者である市が計画的に推進するよう求める。

答 4月から新しく発足する加東市商工会や商店街、地域住民等が主体となった協議会の立ち上げが必要である。ユニバーサル社会づくり実践モデル地区に社市街地を中心とした地域が兵庫県の指定を受けており、安全・安心のまちづくりを進めていく中で商店街の活性化も視野に入れ、支援していきたい。

地域通貨の導入の考えは

問 地域通貨の導入によって、市民と行政のパートナーシッ

プの構築、また、地域経済の活性化に効果が得られると考えるが市長の考えは。

答 福祉の分野での有償ボランティアの必要性は感じており、その対価として地域通貨は有効な手段の一つと考える。商工会や市民団体等で検討いただき、方向づけられた場合には、連携、調整を図っていく。



ユニバーサル社会づくり実践モデル地区に指定された社市街地



活字文書読み上げ装置の 公的窓口設置について

羽野 奨議員

問 加東市内の視覚障害者の人数と情報提供の方法について問う。

答 平成18年9月30日現在、89名おられ、うち障害者手帳1級の方が31名、2級の方が21名となっている。

視覚障害者への主な情報提供は、社会福祉協議会の朗読ボランティアによる声の広報を収録したカセットテープを希望者14名に配布している。

問 視覚障害者への情報提供の今後の取り組みについて。

答 公的窓口での対話による適切な説明が一番よい方法だと考えている。また、朗読ボランティア活動を通じての情報提供を続けていきたい。



その他の質問事項

- 「頑張る地方応援プログラム」について
- 学校図書館図書整備事業について

問 活字文書読み上げ装置の公的窓口への導入について。

答 設置事例等を研究し、今後検討する。また、設置する場合、平成19年度から平成20年度の間、国の補助金が予算措置されており、導入についても十分検討する。



医療費無料化年齢の 新年度拡大を問う

松本 学議員

問 他市町のように小学3年生まで医療費無料化を拡大し子育て支援すべきでないか。

答 平成19年度においては義務教育就学前までを無料、小学3年生までは一部助成を実施したい。

地域医療の体制整備見直し

問 市長のマニフェストの一つ、公立社総合病院を核とした地域医療の体制整備の方向性（直営又は民営化等）と具体策を問う。

答 今も公立社総合病院の医師不足解消に鋭意努力している。公立病院としてのあり方と方向性について、院内プロジェクトの意見も参考に、近く設置する院外検討委員会で指針を策定する。



公立社総合病院の待合風景

その他の質問事項

- 放課後地域子ども教室は学校空き教室を利用すべきでは
- 行政組織スリム化について
- さらなる防犯対策（交番及び防犯灯設置計画）について
- 消防団活動の一体化及び体制整備構想について

常備消防の広域化について

志方 勉 議員



問 災害の大規模化、住民ニーズの多様化に的確に対応するため常備消防の広域化が求められている。広域化することにより、災害に対応できる消防隊の増加や消防車両、資機材の計画的な整備、また管轄区域の拡大により地域によっては現場到着時間の短縮が期待できる。

また消防無線のデジタル化による指令設備の効果的な運用や高価格車両の計画的な配置が可能となり、少ない経費で高い水準の消防サービスの提供が可能となる広域化を積極的に推進する必要があると考えるが、市長の所見を問う。

答 広域化によるスケールメリットは極めて有効であり、消防力の強化による住民サー

ビスの向上や消防に関する行政運営の効率化と基盤の強化が期待されている。広域化については、市民の方々と関係市町、消防関係者等への理解を得て推進していくことが非常に大切である。

広域化を推進するための体制整備に積極的に取り組みつつ十分検討し、広域化の推進を図っていく考えである。



新しく導入した水槽付消防ポンプ自動車

農政改革について

井上寿弘 議員



問 平成19年度から始まる品目横断的経営安定対策と米政策改革推進対策はどうか。

答 品目別の価格政策から経営全体に着目した政策による補助対策へ変更する。また、米政策改革では、地域の農産物販売、水田の利活用、担い手育成を行い、生産対策や経営対策を一体的に実施し、水田農業の構造改革を促進する。

問 加東市の集落営農組合と認定農業者の現状と今後の推進方策はどうか。

答 現在、集落営農組合数は22組合、認定農業者数は24名である。農業後継者不足の対応として、機械の共同利用の推進や営農組合の設立支援、また意欲的な農家を認定農業者として認定するなど積極的

に推進する。

問 平成19年度の加東市の水稻の生産調整配分はどうか。

答 社地域では、24%、44%、滝野地域は37.2%、東条地域は20.3%。

その他の質問事項

□ 農産物直売所の現状は
□ 特別指定区域の指定について



大型機械により作業の効率化を図る



道の駅「とうじょう」の

機能充実について

藤原文悟議員

問 加東市の東の玄関口である道の駅「とうじょう」は市の地域情報発信拠点であり、新鮮な農産物の販売や各種イベントを開催するなど、東条農業者連合等の活動拠点及び地域住民と都市住民との交流の場でもある。また、近年はインターパークへの企業進出や住宅建設が活性化するなど道の駅の位置づけはますます増大している。現状の広さ、地形では将来に渡って道の駅本来の機能を十分発揮できない。

隣接地の取得は、利用者や道の駅関係者の長年の念願であり、土地取得により再整備を行い、駐車場対策を含めて加東市のまちづくりに寄与する施設にパワーアップすべきである。

答 現在、隣接地を都市再生機構から臨時駐車場として土・日・祝日に借用している。今後は平日も使用できるよう調整していく。取得には多額の費用が必要であり、利用状況、財政状況を勘案し判断すべきと考える。

その他の質問事項

□ケーブルテレビ整備による行財政改革効果とその運用について



にぎわいをみせる農産物の直売所



多発する重大交通事故に

対する取り組みを問う

小川忠市議員

問 死亡に至る重大な交通事故が多発しているが、安全安心のまちづくりの観点から行政としての具体的な施策はあるのか。また、高齢者や児童・生徒に対する啓発は。

答 あらゆる機会やメディアを通じて事故防止の啓発運動を強化したい。交通事故防止キャンペーン等の実施を検討する。

教育現場では、教職員、PTA、地域一体となり交通安全教育を徹底していく。

合併一周年を迎えて

問 合併一周年を迎えての市長の感想と今後の思いを問う。

答 旧3町差異があり課題も山積している。平成18年度はプランの年であり、平成19年

度は実行の年とし、一挙には行かないが、個々の事業を積み重ね、市民と一緒に充実した加東市づくりに取り組みたい。

認知症高齢者対策について

問 認知症高齢者やその家族に対する支援対策は。

答 関係機関と連携を図りながら、今年度は新たに「認知症何でも相談日」を開設する予定である。



地域の方に見守られて通学する子どもたち

加東市行財政改革

大綱について

磯貝 邦夫 議員



を設置することになっている。

その他の質問事項

問 分庁方式を再編・統合し、近い将来一本化していき、将来に向けての総合庁舎への方向づけが加東市における改革の本丸であると思うが、そのための具体的な見解について問う。

答 庁舎の一本化及び各類似公共施設の統廃合については、行財政改革の重要項目として掲げている。その進め方として平成21年度を目標年次とする集中改革プランにおいて、行政組織・機構の見直し、事務事業の再編、分庁舎のあり方と庁舎整備の検討、公共施設の統廃合をそれぞれ関連づけ、行財政改革推進委員会の提言や先進地域の事例を参考にしながら、新年度において（仮称）庁舎統合検討委員会



加東市役所 社庁舎

□障害者自立支援法に対する加東市の取り組みについて（就労支援体制と要望書の対応について）

□子育て支援について

□都市計画税について（商業地域内の現象効果の実感が無いとの不満について）

□特別指定区域制度について

モラル向上のための

条例制定について

桑村 繁則 議員



問 環境美化の関心を高めるために、「犬猫のふん害防止条例」「空き缶ポイ捨て禁止条例」を制定する考えはあるか。

答 加東市保健衛生推進協議会等で啓蒙を図り、また立看板によりマナーが向上した面もあり、一部では減少している。今後も地区環境衛生委員と連携を図りながら、広報、ケーブルテレビ、有線放送を通じて、モラル向上のための啓蒙を行い、美しい加東市を目指して取り組んでいく。

防災・安全対策について

問 市営住宅の安全点検管理体制はどうなっているのか。

答 市営住宅管理者として、入居者には自治会代表や防火管理者を通じて指導し、団地

ごとに防火訓練を行い、「市営住宅だより」でも防火意識の高揚に努めている。

問 西脇方面の河川改修工事が進んでいるが、鬨竜灘下流近辺は大丈夫か。

答 上流部が整備されることにより、従来の水量、流速等を見直す必要があり、国土交通省と兵庫県で再検討すると聞いている。



マナーを守って楽しく散歩をしましょう



ケーブルテレビで

行政情報の提供を

藤尾 潔 議員

問 市が考えている計画などを、ケーブルテレビでわかりやすく伝える必要があるのでは

答 今年度から予算や行財政改革大綱等の説明の番組を作成するなど、ケーブルテレビを積極的に活用していく予定である。

職員の窓口対応について

問 市民から相談を受けた時に、不正確な対応をしているケースはないか。

答 職員一人ひとりが「自分の回答が市の公式の回答である」という認識で対応しているか。

答 親切に、的確に対応するのは当然のことであるが、完全に徹底しているとは言いきれない面もある。今後、さらに指導を重ねていく。



ケーブルテレビで多彩な情報提供を

問 議員による違法な口利きがあった場合の対応は。

答 総務部で一括して報告を受ける。平成18年度は問題になるようなケースはなかった。

議会 日誌

《主なもの》

1月

- 15日 総務文教常任委員会
- 18日 東播・淡路市議会議長会定例会、講演会
- 23日 議会運営委員会
- 31日 産業建設常任委員会

2月

- 8日 議会運営委員会
- 9日 兵庫県市議会議長会総会
- 14日 兵庫県広報研究大会
- 16日 厚生常任委員会
- 20日 北播磨清掃事務組合議会
- 21日 播磨内陸医務事業組合議会
- 22日 小野加東環境施設事務組合議会
- 23日 総務文教常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 北播衛生事務組合議会
- 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合わかあゆ園議会

3月

- 1日 第7回定例会 (1日目)
- 2日 小野加東広域事務組合議会
- 5日 予算特別委員会 (1日目)
- 7日 予算特別委員会 (2日目)
- 9日 予算特別委員会 (3日目)
- 12日 予算特別委員会 (4日目)
- 14日 予算特別委員会 (5日目)
- 15日 第7回定例会 (2日目)
- 16日 総務文教常任委員会
- 19日 厚生常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 28日 第7回定例会 (3日目)



報 告

総務文教常任委員会

3月16日に委員会を開催し、付託されていた条例2件について審査を行った。

一般職の職員給与に関する条例の一部改正

新給料表への切り替えにより、給料水準を平均4.8%、最大7%を引き下げる。級の再編と号給構成の変更、勤務成績に基づく昇給制度を将来的に導入する。国と同様に現給保障を行う。

【問】退職時の特別昇給は。 【答】条例改正によりなくなる。

【問】枠外の昇給について。 【答】最高号給で停止し、枠外昇給はなくなる。対象人数はおよそ17名。

【問】職員組合との交渉状況について。 【答】4月導入については基本的には合意しているが、最終合意までは至っていない。

【問】長期休職者に対する対応について。

【答】勤務成績が良好でないという判定になれば、昇給はしない形となる。

反対討論

職員組合との交渉が成立しておらず、見通しも明確でない。納得していない職員もいると考え、反対する。

賛成討論

財源を要することでもあり、国と同様の昇給抑制を行っていない点は問題があると考え、職員にはその意識を持って職務に当たってほしい。新給料表導入には賛成である。

賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び教育長の給与、旅費等に関する条例の一部改正

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、所管事務調査として、養護学校の設立についての要望について教育委員会の出席を求め、現状を調査した。



現在整備中の国道372号野村河高バイパス

産業建設常任委員会

道路整備を視察

3月20日に産業建設常任委員会を開催し、市内で整備中の国道372号及び市道の現地調査を行った。

国道372号の社バイパス（国道372号）山国、松尾、国道175号）は、延長2.81km（標準幅員16m）のうち1.53kmは整備済みで現在、山国工区の工事が進められている。

また、田中・松尾工区は用地買収を進めている。国道372号野村河高バイパス（国道175号）野村河高）は、延長2.29km（標準幅

員17m）のうち社工業団地の約1kmは既に平成17年3月に供用開始している。残りの加古川までの区間は、現在、工事が進められており、加東大橋（仮称）の下部工事に着手している。両バイパスの供用開始は、加古川架橋に相当期間を要するため、平成23年を目標に進められているが、幹線道路体系からも早い全線開通が期待されている。委員より交通安全対策を考慮願うとの要望があった。

引き続き、現在整備中の河高、高岡地区内の市道赤山河高線、高岡東西1号線、高岡別府北線の現地調査を行った。施工年度は平成17年度から平成20年度とし、順調に工事が進捗している。これらの路線は通学路であり、児童の安全確保のため、歩道の日も早い完成が望まれる。

委員会

厚生常任委員会

3月19日に委員会を開催し、付託されていた条例1件、請願2件、陳情1件について審査を行った。

福祉医療費助成に関する条例の一部改正

兵庫県の実綱改正に伴い、4月1日から小学3年生までを助成の対象とし、7月1日からは加東市独自の追加助成として、義務教育就学前までの乳幼児の医療費個人負担分を市が負担するものである。



助成対象を小学3年生までに拡大

【問】小野市のように小学6年生まで医療費を無料にできないか。

【答】本来、国、県の方針により一律で実施することが望ましい制度と考える。平成19年度は近隣の西脇市等の動向を勘案し、未就学児童の個人負担分を市で助成したい。

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

療養病床の廃止・削減計画を中止するため政府への意見書提出を求める請願

【請願事項】

療養病床の削減計画を中止し、医療・介護・福祉制度や施設等の基盤整備を優先することを求める意見書の提出を求める。

リハビリテーション打ち切りの調査と改善のため政府への意見書提出を求める請願

【請願事項】

市民が安心して維持期リハビリテーションが受けられるよう、リハビリテーションの診療報酬改定に関する影響調査と改善を求める意見書の提出を求める。

以上2件については、全会一致で採択すべきものと決定し、意見書を提出することにした。

「保育・学童保育・子育て支援施策の充実と予算の大幅増額を求める」意見書提出に関する陳情書

加東市には当てはまらず、意見書を提出する必要があるとして、不採択とした。

また、所管事務調査として、地域活動支援センターの設置についての要望について福祉部の出席を求め、現状を調査し、今後も継続して調査していくことに決定した。

意見書

本会議最終日において、

厚生常任委員会から提出された意見書2件を賛成多数で可決し、議長名で国の関係機関に提出した。

◆療養病床削減計画を中止し、安心できる医療・介護・福祉の基盤整備を求める意見書

昨年4月の診療報酬改定で新しい入院料が設定されたが、療養病床削減を誘導するために入院患者の退院を促すものとなっている。すべての入院患者が医療の必要性が低いわけではなく、退院患者は医療難民、介護難民とならざるをえない。入院患者が安心して医療・介護・福祉を受けられるよう、制度の一層の拡充が不可欠であり、政府は緊急に対応されるよう要望する。

また、障害児（者）リハビリは無制限となっているが、提供施設は重症心身障害児施設に限定せず、実態に応じて実施できるように要望する。

◆リハビリテーションの診療報酬制度に関して調査と改善を求める意見書

昨年4月の診療報酬改定で、脳血管疾患は発症・手術または急性増悪から180日以内、運動器は150日以内、呼吸器は治療開始から90日以内、心大血管疾患は150日以内と算定日数上限が設定されたが、疾病ごとに上限を設けず、患者の実情に応じて実施できるように改善することを要望する。



リハビリに励む高齢者

やしろ鴨川の郷

遊ぶ テニスコート、森林遊歩道
芝生広場、つり堀、体験農園
キャンプ場と楽しみ方いろいろ!

食べる 地元の旬の山野菜を使った
洋風郷土が楽しめます!

泊まる ゆったりくつろぐなら本館あぐりびあへ!
リゾートライフを楽しむならログコテージへ!



池のほとりにたたずむ本館あぐりびあ

加東市内には魅力的な施設がたくさんあります。そこで、議会だよりでは施設を紹介していきたいと思えます。

今回は、みどりの風の谷「やしろ鴨川の郷」大畑政康館長にお話を伺いました。

みどりの風の谷「やしろ鴨川の郷」は四方を山に囲まれ、四季折々の彩りを楽しんでいただける谷間にある施設です。園内には本館あぐりびあ、ログコテージ、テニスコート、ひびきの森遊歩道等があります。あぐりびあには、宿泊室や研修室、レストラン「こぶし」があり、洋風創作料理は大変好評をいただいております。



設備の充実したコテージ

ログコテージは、簡易キッチン、風呂等充実した設備を備えており、自炊をしながら家族、グループで楽しく過ごしていただくことができます。

テニスコートは、オムニコートが4面、クラブハウスもあり、緑の中で爽快な気分プレーしていただけます。ひびきの森遊歩道の標高約350mの山頂には、展望台が設置しており、園内や鴨川周辺、山々の向こうに東条あたりまで見渡せます。所要時間60分程度で気軽にハイキングを楽しんでいただけます。

これからは新緑目に染みる季節、自然いっぱいのやしろ鴨川の郷へ、皆様お越しください。

議会の傍聴にお越しく下さい。

5月臨時会の予定	5月16日(水)	9時30分	議案審議
6月定例会の予定	6月5日(火)	9時30分	議案審議
	6月15日(金)	9時30分	一般質問
	6月27日(水)	9時30分	議案審議

詳しいことは5月10日以降(臨時会)、6月1日以降(定例会)に議会事務局までお問い合わせください。
ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp

編集後記

アメリカの政治学者フランクリンの言葉に「仕事を追え、仕事に追われるな」がある。常に積極的に自分から求めて仕事に取り組めば、仕事も楽しみとなり、よい結果が得られる。反対に、いつも仕事に追われると、やがて仕事は苦痛となり、よい結果も得られない、との意味である。

「加東市議会だより」の広報委員になった。全く未経験で、不安だらけのスタートだった。

この議会だよりを通して、皆さんに議会を身近に感じてもらうため、写真撮影や現地取材、構成から編集まで積極的に取り組んだ。委員各位をはじめ全議員の協力を得て、手作りの議会だよりを創刊することができた。関係各位に謝意を表するとともに、身近な議会を目指して常に積極的に取り組むたい。

(C・O)



□広報特別委員の紹介

委員長
副委員長
委員

藤尾 潔
小川 忠市
橋本 嘉郎
志方 勉
二階 一夫
羽野 奨
藤原 文悟